

# 弘濟寺がわふ版

第17号  
発行:平成17年9月19日  
編集:弘濟寺 玉野千永  
http://www.geocities.jp/kosaimitsuji/

## 弘濟寺の佛さん

第2回

### 「大黒天」

マ



本堂右手奥にどしりと構えているのが大黒さん。左肩に袋を負い、右手に打出の小槌を持ち米俵の上に座って頭巾をかぶっています。大黒さんと言えば七福神の一人です。(ちなみに七福神とは、恵比寿、大黒、毘沙門、弁財、布袋、福祿寿、寿老人の七神です) この中でも恵比寿と大黒は福の神の代表として厚く信仰されています。

大黒さんは本名を摩訶迦羅 マハカハラ といひ、大日如来が荼吉尼という悪魔を征伐するために作った戦闘神でした。古来大黒さんはドクロを首にかけ、すさまじい表情の神様としてインドで信仰されてきました。これが長い民間信仰の間にいつのまにか「武装解除」され、七福神の仲間入りをし、恵比寿さんの親類のようなめでたい神様となったのです。

日本でも左手に宝剣、右手に袋を持ち、

鏡をつけて「半跏倚坐」といわれる待機の姿勢をした、ものしい大黒さんが京都の双林寺にドッカと座り続けています。見てみたい...

ところでお寺の奥さんもお大黒さんと呼ばれていますよ。それは「お坊さんがまだ毒帯を許さなかつた時代、寺の中にいる女の人に「大黒頭巾をかぶせ顔が見えないように、世を忍んでいた頃の話だ。」そうです。

弘濟寺の大黒さんは子どもにお説教する時、すさまじい形相になります。私も武装解除し、笑顔、笑顔で過ごしたいものです。



▶EBISU



▶BISHAMON



▶BENZAI



▶HOTEI



▶FUKUROKUJU



▶JYUROJIN

*愛称	… 大黒さん
*造立年代	… 江戸時代
*造り	… 木造・彫眼・彩色
*法量	… 総高75.5 俵高59.7
*真言	… オン・マカハラヤ・ソワカ



- 一は俵を踏んまえて
- 二にニコリ笑って
- 三に酒を作って
- 四つ世の中良うして
- 五ついつものごとくに
- 六つ無病息災に
- 七つ何事も無うして
- 八つ屋敷を広め
- 九つ小蔵をぶ、建てて
- 十でとうとう納まった

福の神を共に立てて  
大黒殿が御座った  
御座った御座った  
大黒殿が御座った

編集後記  
夏休みが終わり、運動会が終わり、ホッと一息という訳にはいかず、これからお彼岸です。忙しい毎を送っていると色々な事が「いいか減」になってきます。ところがそれを見れば住職は「いいか減が「いいんだよ。お風呂だつてそうじゃ。その時々いいか減にするのは難しいんだ。その調子が「かんぱり」  
ふんふん、いいか減っていい言葉なんじゃあ。  
◀アクセントに注意して読んで下さい▶

大黒のお茶の時間です。庭の袖子がだいぶ大きくなってきました。あれが色づいてくると、そう、袖餅が食べたくなります。大きさは一粒三五センチ位。ゆずの香りの求肥でまわりに和紙がまぶしてあります。上品な味で食べ始めるとやめられなくなります。鶴屋吉信のお菓子がお店の看板になる程の代表銘菓です。

便利とは感動と感謝を奪う現代の心の破壊者である

雨

法